

第1回 草津市総合交通戦略協議会議事録

○日時 平成24年 9月3日(月) 14:00~16:30

○場所 草津市まちづくりセンター 2階 会議室

○出席者

委員 : 川瀬、濱田、南出、香月、前野、塚口、平野、樋口、大西、吉澤、沢田
後藤、松本、谷村、徳島、吉井、田中

事務局 : 草津市都市建設部 浅見、岡村、北中、山本、松尾、青木

中央復建コンサルタント : 山室、高橋

随行者 : 4名

○配布資料

- ・議事次第
- ・委員名簿
- ・座席表
- ・資料1 総合交通戦略について
- ・資料2 草津市総合交通戦略協議会設置要綱
- ・資料3 草津市総合交通戦略について
- ・資料4 交通に関するアンケートについて
- ・資料5 協議会開催スケジュール

○議事概要

事務局	<ul style="list-style-type: none">・ 皆様、本日はご多忙な中、また残暑きびしい中お集まりいただき誠にありがとうございます。・ 先般、皆様方に草津市総合交通戦略協議会の委員の就任について、依頼させていただいたところ、快く引き受けていただき、あらためてここに御礼申しあげます。本来なら、委員の皆様ひとりひとりに市長より委嘱状をお渡しするところですが、公務の都合上、誠に失礼なことと存じますが、皆様の席のところに置かせていただきました。ご確認ください。・ それでは、次第にそって会議を進めてまいります。・ まず開会にあたりまして、事務局を代表いたしまして草津市都市建設部長の浅見よりご挨拶申しあげます。
事務局	<ul style="list-style-type: none">・ 都市建設部の浅見でございます。・ 草津市総合交通戦略協議会の開催に際しまして、委員の皆様におかれましては、公私とも大変お忙しい中、委員の就任を快く引き受けていただきまして、ここにお礼申しあげます。・ さて、本市では、地球温暖化への対応や、少子・高齢化の進展など、環境の変化や時代の潮流を的確にとらえ、未来を見据えた都市づくりを計画的に進めていく、いわゆるコンパクトシティを目指す必要があり、その将来の都市構造につきましては、一定の都市機能の集積や、郊外と中心市街地を結ぶ公共交通網の整備、草津駅、南草津駅の両駅を中心とした公共交通ネットワーク等の充実等により、効率的な都市構造を目指したいと考えております。・ そのためには、自動車交通に過度に依存した交通体系から、道路と公共交通の分担バランスを保つ両者の役割を考慮しつつ、交通渋滞の緩和や、公共交通と自転車・歩行者を優先した交通体系にシフトしていく必要があります。また、交通事故により尊い生命が失われることのないよう、市民の方々に安心安全なまちとして誇りを持っていただきたいと思います。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ こうした観点から、重点的な交通政策の目標をより明確化し、ハード・ソフト両面の効率化、効果的な施策展開を図ることを目的として、草津市総合交通戦略を策定することといたしました。現状の公共交通の活性化や再生を図ることはもちろんのこと、それに加えて住む人、訪れる人に快適なまちとして認識してもらいたいと考えております。 ・ 協議会の委員の皆様とともに草津市の交通施策は「これだ！」と言えるものを策定する意気込みでございますので、委員の皆様方には活発なご議論をいただきますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。 ・ 以上、甚だ簡単ですが、わたくしの挨拶とさせていただきます。 ・ ありがとうございます。 ・ ここで資料の確認をさせていただきたいと思います。お手持ちの資料を確認してください。 ・ まず、次第、委員名簿、座席表、資料1から資料6でございます。揃っていますでしょうか。もし資料が抜けていましたら事務局までお申し出ください。 ・ それでは、会議を進めてまいります。 ・ 本日第1回目の協議会ということでもありますので、委員の皆様の自己紹介をお願いしたいと思います。それでは、自治連合会の川瀬委員より順にお願いできないでしょうか。
事務局	<p><<委員 自己紹介>></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ありがとうございます。続きまして事務局側の紹介をします。 <p><<事務局 自己紹介>></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今回、総合交通戦略の策定に向けて、資料作成等の主な作業をしていただくコンサルタントを紹介します。 <p><<中央復建コンサルタンツ(株)自己紹介>></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ありがとうございます。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ では続きまして、次第の4番、総合交通戦略について、次第の5番協議会の設置要綱について事務局の松尾から説明いたします。 ・ 事務局の松尾でございます。 ・ それでは、次第の4番目の総合交通戦略について説明します。ここで、説明いたします総合交通戦略はあくまでも一般論であり、草津市における総合交通戦略については、後ほど詳しく説明させていただきます。 ・ 資料の1をご覧ください。国土交通省の資料からの抜粋ではありますが、まず、総合交通戦略の目的ですが、近い未来に迫っている超高齢化社会への対応、また環境問題などから、自家用車の利用を控え、自転車や公共交通への転換を図る必要性はよく言われていることではありますが、自家用車以外の移動手段、徒歩、自転車、公共交通機関などの各モードが連携し、まちづくりと合わせた交通施策が実施できるよう、関係機関が協力し、適切な役割を果たし、総合的な整備を行うことが総合交通戦略の目的であります。 ・ 次に総合交通戦略の特徴ですが、資料に書いていますとおり、交通需要に対応する施策ではなく、将来の都市像における交通施策を立案することが特徴であります。 ・ 次に総合交通戦略のあり方ですが、資料1の2ページ目になりますが、総合的な交通の姿に向けて、各関係機関で構成する協議会で、実施する施策、事業を検討するとなっております。 ・ 最後に総合交通戦略の意義ですが、実行性の高い計画ですので、資料の図にありますように、目標達成に向けて、施策、事業を明確化し、段階ごとの検証などを行っていくため、機動的な展開を可能とします。以上で総合交通戦略の説明を終わります。 ・ 続きまして、次第の5番目、草津市総合交通戦略協議会設置要綱について説明します。 ・ 資料の2をご覧ください。第1条から第7条までありまして、第1
-----	--

事務局	<p>条は総合交通戦略の策定にあたり様々な意見および考えを反映させるため、協議会を設置するとなっております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第2条は所掌事務となっており、総合交通戦略の策定に向けての検討を行うとなっております。 ・ 第3条は協議会のメンバー構成であり、第4条で会長および副会長を置くこととなっております。会長は委員の互選で、副会長は会長の指名となっております。 ・ 第5条は協議会の会議についてでありまして、会議は会長が招集するとなっております。第1回の今回は会長がまだ決まっておられませんでしたので、市長名で招集させていただきましたが、第2回からは会長名で招集させていただきます。会議は委員の半数以上の出席がないと開催できませんし、議事については出席委員の過半数で決することとなっております。また、第4項で会長は、会議に必要と認める時は、必要に応じて関係者の出席を求め、説明または意見を聴くことができるとなっております。これは専門的な話になった場合や、事業者の意見を反映する必要性が生じた場合に、その関係者を会議に出してもらうことという事でございます。 ・ 第6条は事務局であり、草津市都市建設部交通政策課でございます。 ・ 第7条は要綱に定めるもののほかで、協議会の運営に関することは会長が定めることとしております。 ・ 以上で次第の5番目、草津市総合交通戦略協議会設置要綱についての説明を終わります。 ・ ただいま説明いたしました次第の4番、5番でなにかご質問はございますでしょうか。 ・ よろしいでしょうか。 ・ 設置要綱の説明が終わりましたところで、本日の委員のご出席は、19名中17名であり、設置要綱第5条第2項に定める過半数以上の出席を得ておりますことから、本協議会は成立しておりますことをご報告申し上げます。
-----	---

	<ul style="list-style-type: none"> • それでは次第の6番であります議事に入りたいと思います。 • まず、1つ目の議題となります、会長および副会長でございますが、設置要綱の第4条第3項にありますように、会長は委員の互選によって定めとなっております。どのように選出させていただいたらよろしいでしょうか。
A委員	<ul style="list-style-type: none"> • 事務局の判断でどうでしょうか
事務局	<ul style="list-style-type: none"> • 事務局の判断という意見がございましたので、事務局の案を提示させていただきますてもよろしいでしょうか。
	<p><<異議なし>></p>
	<ul style="list-style-type: none"> • それでは、事務局（案）を申しあげます。今回策定いたします草津市総合交通戦略は交通事業とまちづくりが連携した総合的な交通施策の推進を図るものであり、現在に至るまで、都市計画審議会の会長として、また、地域公共交通会議の委員長として、草津市の交通とまちづくりに深く関わっていらっしゃいます立命館大学の塚口教授にぜひともお願いしたいのですが、委員の皆様いかがでしょうか。
	<p><<異議なし>></p>
	<ul style="list-style-type: none"> • それでは、委員の皆様の拍手をもって承認とさせていただきたいと思います。
	<p><<拍手>></p>
	<p>ありがとうございます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • それでは、塚口教授より会長就任のご挨拶をいただきたいと思います。 • 塚口先生よろしくお願ひ申しあげます。
会長	<ul style="list-style-type: none"> • 会長を務めさせていただきます。よろしくお願ひいたします。

	<ul style="list-style-type: none"> 先ほど紹介いただきました、国土交通省が作成されている総合交通戦略の要綱を見ても、20世紀の都市計画は都市への人口集中に伴う混雑に如何に対応していくのかという交通計画でありましたが、地方都市人口が増えてそれほど大きな都市への人口圧力はないのですが、また別の問題が表れて新たな21世紀の都市交通問題に対応する必要性から総合交通戦略も必要になってきます。コンパクトシティの形成、過度に拡散しない都市における交通計画を長期的な戦略をもって策定することが必要になってきます。 一般的にはそのようなことですが、私は草津市の総合交通戦略は湖南地域人口が増えていることや、草津から情報発信が出来るような状況にもなってくることから各方面から期待されているのではと思っています。市の協議会ではありますが、他の部署から注目されている重要な会議という緊張感をもって臨んでいます。委員の皆様には建設的な忌憚のない意見をいただきまして、斬新な戦略にしていきたいと思っています。どうぞご協力のほどお願いします。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> どうもありがとうございました。それでは、これより会長に議事の進行をお願いいたしたいと思えます。塚口会長よろしく申し上げます。
会長	<ul style="list-style-type: none"> それでは、これより私のほうで会議を進めさせていただきます。 議事に入ります前に、委員の皆様にご覧いただきたい案件があります。それは、この戦略協議会を公開にて進めさせていただいてよろしいかという点であります。もちろん、策定されたものについてはパブコメ等で広く市民に周知いたしますが、やはり協議会での議論においても、市民の方々に知っていただく必要があると私は考えるのですが、委員の皆様いかがでしょうか。 <p><<異議なし>></p> <ul style="list-style-type: none"> それでは今後、草津市総合交通戦略協議会は公開にて進めさせてい

	<p>たきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • それでは議事に入ります。まず1番目の「会長及び副会長の選出について」であります。会長につきましては、さきほど委員の皆様のご同意のもとわたくしが就任させていただきましたが、副会長につきましては要綱の第4条第4項にありますように、会長であるわたくしが指名することになっています。わたくしとしましては、長年自治連合会の役員を通じて草津のまちづくりにご貢献されており、また、南草津駅を県内第2位の乗降客数を誇る駅に発展したきっかけをお作りになった、新快速電車の停車における、促進期成同盟会の会長としてもご尽力をいただきました川瀬委員に副会長をお願いしたいと考えているのですが、委員の皆様いかがでしょうか。 <p><<異議なし>></p> <ul style="list-style-type: none"> • ありがとうございます。それでは川瀬委員、今後ともよろしく願います。 • では議事を進めてまいります。2番目の「草津市総合交通戦略について」から、4番目の「策定スケジュールについて」まで、一括して説明して、それから意見交換、質疑とさせていただきます。 • では事務局より説明をお願いします。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> • はい。事務局の交通政策課の松尾でございます。それでは資料3から5に基づき中央復建コンサルタンツの高橋さんから説明させていただきますのでよろしくお願いいたします。
中央復建	<ul style="list-style-type: none"> • 中央復建コンサルタンツの高橋です。お手持ちの資料とスライドはほぼ同じですので、併せてご覧いただけるようお願いします。 • まず、草津市の概況から説明いたします。人口は12万5千人で平成30年まで増加の見通しです。交通の概況としては、鉄道がJR東海道本線、道路網では、国道一号線・名神高速道路・新名神高速道路、集客性の高い施設としては工業施設ではパナソニック、ダイキン工業、商業施設ではイオンモールや中心市街地にある商業施設

群といったところがあります。教育施設では高校・規模の大きい大学がございますので、人口の12万5千人だけでなく、周辺の市町村にとっても重要な都市になっています。

- ・ 草津市内については、6地域ごとに多様な特徴を活かしたまちづくりを草津市都市計画マスタープランにより目指しています。今回の交通戦略でも、地域の特性を活かしながらまちづくりを進めていけたらと考えています。
- ・ そこで、草津市における総合交通戦略の必要性でございますが、全国的な話としては人口構造が変わってきていること、環境の変化、安全面の問題、地方分権により地方がどうやって自立していくかということ、都市化から都市型へということ、ITが今後どうやって進んでいくかという話、観光や町並みといった話を含めて、草津市における必要課題である市街地の潤い、環境負荷の小さい街の形成といった様々なポイントを絞りながら草津市のまちづくりに活かしていくという課題としての現状であります。
- ・ 草津市の現状について概略ですが説明いたします。まず人口ですが、近年人口減少が各都市で叫ばれていますが、草津市では国勢調査によると、平成32年までは増加が続くと予測されているという状況です。一方で人口の内訳では、高齢者の人口は他都市と同様に増加傾向で平成32年に65歳以上の人口は3万人、総人口の23%に達するという推計です。それに伴い、草津市から発生する交通についても65歳以上の占める割合が今後も増加すると予想されます。
- ・ 市内の公共交通についてですが、草津駅については乗降客数はほぼ横ばいに推移しています。南草津駅については順調に増加していて滋賀県下でも有数の乗降客数を誇る結果となっています。
- ・ 草津市から発生・集中する交通について平成22年パーソントリップ速報値を用いて整理すると、順調に増加していることがわかります。トリップ数については、自動車の増加が大きく、公共交通については鉄道は若干増加していますが、バスについては人口の増加にも関わらず、ほぼ増加していないというのが現状です。

- ・ 事故の件数につきましては、発生件数、負傷者数ともに減少傾向です。
- ・ 中心市街地につきましては、平成14年と平成19年のデータを比較しますと、事業者数、従業員数、年間商品販売額数、売場面積を見て全て減少傾向にあります。交通戦略でこういった交通のあり方が街の活性化につながるのかといったところも考えながら検討していく必要もあるのではと思います。商店街については利用可能な店舗のうち、空き店舗が1割あるというデータもあります。
- ・ 放置自転車の撤去数については、草津駅ではほぼ横ばい、南草津駅は撤去数は多いですが、減少傾向にあります。
- ・ こういった現状を踏まえ、なぜ交通戦略が必要なのかといったところです。上位計画である第5次草津市総合計画に「人」が輝くまち、「安心」が得られるまち、「心地よさ」が得られるまち、「活気」があふれるまちといったことを決められ、その中で道路・交通に関する取り組みを、おおよその方針として決められています。
- ・ 関連計画としては、草津市地域公共交通総合連携計画、第9次草津市交通安全計画、草津市自転車安全利用計画があり、交通から見たまちづくりを進められています。
- ・ 一方、滋賀県でも大津市・湖南地域新交通システムの導入検討協議会で交通のあり方を整理されている段階です。
- ・ こういった大きな計画を実現へ導くための具体的な目標を明らかにし、時間を切って段階的に進めていくというのが総合交通戦略の位置づけです。
- ・ ここからはイメージとしての話ですが、都市構造については草津市は人口増加が進んでいる一方で中心市街地の若干の空洞化がみられ、活力を入れなおす時期に来ているといえます。課題として駅を中心とした集約型都市構造の構築といったところや中心市街地の活性化といった課題が考えられます。

- 交通につきましては、鉄道では乗降客数が県内1位2位といった利点を活かし、景観保持としての魅力をいかに作っていくか、一方で湖岸・山の手地域といった郊外の公共交通のアクセスをどう維持していくかといったところの課題も考えられます。
- バスについては、草津駅・南草津駅をターミナルとしてバス路線が整備されていますが、地域によって密度の高い地域と低い地域があり、どれだけ市民サービスを提供できるか・維持できるかという点も今後の課題と考えています。
- 道路網につきましては、国道等での混雑が多いところがあります。通勤通学の方も多い地域ですので、時間帯により混雑の差があるといったところで、どういうふうに解消して移動しやすいシステムを構築していくといったところが課題となると思います。
- 最後に自転車と歩行者についてですが、大学や工場がありますので、そこに通われる方の自転車移動であったり、通学路への自転車の進入ということも現状として見られます。エコな交通手段ということには変わらないので、安心・安全というまちづくりの中で自転車をどういうふうに活用していくのかということもひとつの課題であります。放置自転車の数も多いですので、レンタサイクルといったものも使いながら、有効にツールを使っていくことの提案も今後必要だと思います。
- あくまでも施策のイメージですが、核となるものを決めてゾーンを割っていきその中で色々な提案を協議会で出していくことを考えています。また、バスを加えた公共交通といった意味では公共交通をどういうふうに作っていくのかであったり、使ってもらえるような仕組みを作っていくのかといったものを踏まえて、整備できればと考えています。
- 最後に道路網についても道路の整備といった話と、道路をどう使うのかといった話をここで議論させていただくことになると考えています。あくまでもイメージですので、色々議論いただく中で具体的なものにしていければと考えております。

- ・ 草津市総合交通戦略策定調査のイメージ案について、具体的にどうしていくかを議論するために資料の左側にある調査内容として草津市の現状把握、将来像の整理、並行して市民の方のご意見を取り入れていくためにアンケート調査というのも9月から10月にかけて実施していく予定です。その結果を踏まえ、草津市の交通体系にかかる大きな計画を作った上で、戦略としての具体論・実現に向けた取り組み等を進めたいと思います。
- ・ 資料4の説明です。交通に関するアンケートを市民を対象に実施したいと考えています。
- ・ 調査概要についてですが、調査目的として交通行動や公共交通サービスの満足度・重要度を把握し、市民の交通に対してどのような部分に期待しているのかを把握していきたいと考えています。調査対象については18歳以上の草津市在住の方です。ただし、高校生などの学生については別途ワークショップやヒアリングでの調査を予定しています。自転車利用の多い層なので、その辺りもフォローしたいと考えています。草津市民だけでなく、事業者にも可能な限りヒアリングしながら意見を集めていきたいと思っています。
- ・ 調査の時期としては、9月下旬から10月ですが、早い段階で委員の皆様には結果を報告します。配布や回収については、郵送で行い、3000世帯に2部ずつ配って3割の回収を見込み、1,800人の方からご意見いただけるのが望ましいと考えています。調査票には、資料に案として提示しています。
- ・ 調査内容については、まず設問1で回答者の属性、自動車の利用、最寄りの公共交通機関を尋ね、交通環境について整理をします。設問2では、高齢化の中で安心して外出できることも重要になると考えましたので、歩行環境についての質問を設けています。3つ目の質問では、自転車の利用についての問いで、利用者の安全確保にどういった点で整備が必要なのか探っていきたいと思っています。設問4では、公共交通の利用についてです。バスの満足度や市民の方がどういったところが重要だと考えているのか意見を取り入れながら評価をしたいと考えます。設問5では、交通戦略を作るにあたり将来の交通がどうあるのが望ましいと考えているのかを把握する

<p>会長</p>	<p>ことを狙って作成しました。最後に自由欄をあわせて作っています。資料4の説明は以上です。</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料5の今後のスケジュールについての説明です。本日が第1回目ということで総合交通戦略について、アンケート調査についての説明をいたしました。今年度中に5回開催を予定しており、第5回の協議会でマスタープランの策定を目指したいと考えています。 ただいま説明がありました議事の2から4につきまして、なにかご意見、ご質問はございますでしょうか。
<p>A委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> 2点質問があります。まず、草津市の特性が1町5村の単位が草津市の色々な統計などに使われていますが、総合計画の上でも山手のゾーンと湖岸のゾーンでは明らかに将来を見据えた形は変わってくるので、それをどうやって繋げていくかというのが今後の新しい草津市を作るための大きなキーワードになるのではないかと。このことについて、なぜ1町5村というかたちをとったのか、どのようにされるのか案があれば教えていただきたい。もう1点は、アンケートに基づいて我々はそれについての話をするのか、もしくは市の計画について我々がそれについての意見を述べるのか。
<p>会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> いきなり本質的な質問ですが、このことについて事務局から回答をお願いします。
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> 地域特性で1町5村という区割りについてですが、草津市都市計画マスタープランに基づいています。JRや旧草津川で地域が分断されており、そういうものも総合的に検討していくことから、草津市を一括しての検討も必要だと思います。 アンケートについては、結果の公表と同時に草津市の抱えている問題を事務局でまとめてそれにかかる計画案を提示しますので、それについての議論を委員の皆様にしていただくという形式です。
<p>塚口会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> アンケートは市民の皆さんがおおよそどう考えているのかを紹介しながら慎重に議論したいと思います、地域区分については交通戦略を考える上で統合・復活することも考えられるが、上位・同等の計

B委員	<p>画でもそのような地域区分になっているのでそれを踏まえたかたちになっていると思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合交通戦略の課題についてですが、自転車・歩行者の交通バリアフリー化の推進とあるが、鉄道、バス、道路といったほかの交通網では抜けていると思います。大前提としてあえて外してあるのですか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 草津市バリアフリー基本構想で別途定めており、交通機関全体のバリアフリー化推進を短期・中期・長期と分けて事業の進捗を図っています。あえて書かなかったという訳ではありませんが、大前提としてあるということです。
会長	<ul style="list-style-type: none"> 初回なので、協議会の進め方でも資料に関することでも、何でも質問してください。
C委員	<ul style="list-style-type: none"> 草津市総合交通戦略のイメージ図を見て防災との関連が見えないのですが。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 交通機関では将来的に防災についても念頭において検討していくべきだと思います。案として提示する予定です。
会長	<ul style="list-style-type: none"> このイメージ図はある面において主張したい所がわかりますが、全部表そうとすれば無理があります。どういったイメージ図に仕上げていくのか、今後協議会で充実させ、委員の皆さんの考えが幅広く反映されれば良いと思います。
D委員	<ul style="list-style-type: none"> いくつかあります。資料3の地域特性についてですが、琵琶湖も草津市域にあります。沿岸をうまく活用できないかと思います。防災面では、船を使った避難訓練も行われています。湖南地域の内陸部で交通が寸断された場合、何かあったら草津に行けば対岸に逃げられるというような交通の確保ができれば良いと思います。 8Pの交通手段の現状を見ると、利便性の高い駅があるのに市内の鉄道利用が予想以上に自家用車に押されていると感じました。滋賀県全体で次の政策を考えていく必要があると思います。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関連して、自家用車に頼っている現状から見て、自家用車から公共交通機関へいかに乗り換えてもらうかということを考えていくのだから、インセンティブを与えながら情報を提供していかなければならないと思います。自家用車とか公共交通についての予備知識なしにアンケートを行うと、的外れになったり、思うような回答が得られなかったりすると思います。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 湖上交通について検討は必要なので、今後取りあげていけたらと考えます。アンケートにつきましては速やかに実施しなければいけない話ですが、自動車利用の是非について情報を与える必要があるという意見でしたが、アンケートなので、誘導的にならないように注意しなければなりません。本文か挨拶文につける文についていい案があれば伺いたいと思います。
D委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 極論を言うと今まで郊外型を推進してきたのにコンパクトシティに転換しているので、郊外の自動車利用に偏っている地域に「なぜ車を使っているのか」という質問はうまく答えを引き出せるのか疑問。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事務局の方からアンケートの趣旨について補足をお願いします。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ アンケートについては、交通の利用状況の現状を知り、今後市の計画をどのように進めていくかを検討していくためのものです。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民の現状把握についてはいいが、設問5の将来の交通戦略のあり方について5-2、5-3、5-4に条件がついていないのが問題であり、国全体の状況とかの説明なしに訊くと、市民が市の現状把握なしに希望を出すことになるのですが、それについてどう思いますか。
C委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ こういった資料のような市の状況を見せ、現状把握してもらえばいいのではと思います。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 状況を提示した上で意見を聞くというのは私も必要だと思います。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ いただいたご意見はごもっともだと思います。現状や将来推計予測の説明文を構成して前文に付けたいと思います。

<p>会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ できれば追加資料を挨拶文につけて理解してもらった上で回答してもらえればと思います。まったく知らない方向のずれた回答になるおそれがありますので。
<p>E委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総合交通戦略策定の説明の中で、平成21年度に草津市地域公共交通総合連携計画が策定されたという話がありましたが、資料3の14枚目の施策イメージに出典が総合連携計画とあり、交通結節点の整備や公共交通利用促進といったものが今回の協議会の論点と共通するものがあります。総合連携計画と総合交通戦略の関係とはどういったものなのか。私の理解では計画の方では踏み込んでないものを今回の協議会で具体的にするという感じなのかと思っています。
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総合交通戦略の位置づけについてですが、総合連携計画はコミュニティバスの運行等の公共交通に重点をおいています。本協議会は全ての交通手段を含めた計画・立案を図るものです。細かなところまで踏み込んで30年後を見据えた方向性を打ち出し、そのための短期的な戦略に関する施策を本協議会で議論いただくというものです。
<p>F委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 草津市がこれからのまちづくりのモデルケースの一つになることと、基幹的な交通軸の形成をどうしていくのかということをご期待しております。国会で低炭素まちづくり法が成立して、草津市のある地域でした場合、国の財政支援というメリットがあります。県としても滋賀交通ビジョンの中で災害に強いまちづくりにおける全県の交通網の整備、地域の特性に合ったまちづくりとしてまちづくりと一体となった交通環境の整備が項目としてあります。先進的な取り組みとして期待したいです。
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市の策定する中で、県の交通ビジョン・湖上交通との連携は大切だと思います。検討委員会の進捗を報告していただきたいです。県の進捗を鑑みながら総合交通戦略を進めていきたいと考えています。
<p>会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ よりよい交通戦略になるよう関係部局の方々よろしくお願ひします。
<p>G委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 先ほどありました公共交通総合連携計画は、まちづくりの観点がな

	<p>く、公共交通の活性化というのがメインになっている計画ですので、まめバスは公共交通会議で議論されていますので、この協議会とのマッチングをうまくやっていたらいいかと思います。</p>
<p>会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> 資料5にあったスケジュールについて事務局からざっくり説明いただきましたが、補足説明をお願いします。
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> スケジュールについて、今年度は5回開催の予定ですが、但し書きにあるように、進捗により協議会の回数に変更が生じる場合もあります。今年度中に戦略まで定める予定ですので、3～4回は追加を考えております。第4、5回までに基本計画を定め、マスタープランを作った後に総合交通戦略の策定という流れで進める予定です。
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> アンケート調査について説明文を付けるという話ですが、本来なら作った段階で委員の皆さんに議論いただくべきですが、日程の都合上、配布前に委員に送付して、次回に結果の速報値をお伝えします。
<p>会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> アンケートについてはご指摘を真摯に受け止め、前提となっていることを市民の皆さんにお伝えし、誤解のないよう修正していただくようよろしくお願いします。 他に意見がないようでしたら、本日の議事は終了いたします。今後の協議会につきましては、委員の皆様の貴重な意見が総合交通戦略の策定に大きく関わってまいります。素晴らしい戦略ができますよう、皆様のご協力をよろしくお願いします。それでは、事務局へお返しします。
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> 会長におかれましては、議事進行の大役、誠にありがとうございました。また、委員各位におかれましては、活発な議論をいただき、誠にありがとうございました。 それでは、その他事項でございますが、事務局の松尾より説明させていただきます。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ その他事項といたしまして、事務局より報告があります。これからの協議会において、委員の皆様や事務局よりいろいろな意見がでてまいりと思いますし、専門的な話も出てこようかと思っております。そこで、いろんな分野での専門家の方をお呼びして、その都度テーマを決めて、講演会を開催いたしたいと考えております。委員の皆様には、講演会の開催の通知をさせていただきますので、奮って参加していただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。以上です。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次回の草津市総合交通戦略協議会につきましては、10月下旬か11月初旬に予定しております。 ・ 改めて委員の皆様には通知させていただきますので、よろしくお願いいたします。 ・ ここまでの説明で何か不明な点、連絡等ございませんでしょうか。 ・ これをもちまして、閉会とさせていただきます。 ・ 本日は塚口会長をはじめ、委員の皆様におかれましては、長時間にわたり、慎重なご審議を賜りありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ お車でお越しの方で駅前の地下駐車場をご利用された方は駐車回数券をお渡ししますので、事務局までお願いします。 <p style="text-align: center;">おわり</p>